

自由之理

四

自由之理卷之四

仲間會所即チ政府ニテ、人民各箇ノ上ニ施シ行フ權勢ノ限

界ヲ論ズ

問テ曰然バ政府ニテ、一箇人民ノ上ニ加ル權勢ノ當然ナ

ル限界ハ如何ニゾヤ、仲間會所即チ政府ノ權勢ハ安ニ始マル

ヤ、人生ハ銘々一己ナルモノト、寄合寄合談合スル仲間ナルモ

ノト、コノ二者ヲ以テ成リ立ツモノナルガ、人生ノ中ニア

リテ、人民各箇ニテ幾許ノ分ヲ占ムベク、仲間會所ニテ幾

許ノ分ヲ占ベキヤ、以上問題ヲ下文
次第ニ解釋ス

仲間會所即チ政府ニテモ、箇々人民ニテモ、各最モ多ク自己ニ

關係スルモノニ於テ、當然ノ分ヲ受ベシ、詳カニコレヲ言ハ

自由之理第四卷

バ、人生ノ事ニ於テ、人民箇々ノ邊ニ利益多クアルモノハ、

人民箇々ノ占ヘキ分ニ屬ス、仲間會社ノ邊ニ利益多クア

ルモノハ、仲間會社ノ分ニ屬セリ。

仲間會所ニテ、約定ノ明文ヲ以テ、人倫交際ノ本分ヲ命ゼ

ザレド、人民各々仲間會所ノ保護ヲ受ルツキアヘトナレバ、ツノ利

益ノ爲ニ、報酬ヲ爲ザルベカラズ、サルカラニ、仲間會所ノ

統治ヲ受ルモノハ、或ル限界ニマデハ各々他人ニ向ツテ

施ストコロノ行爲ヲ、慎ミ守ラザルベカラズ、コノ行爲ハ

何如ニトイフニ、第一、二ハ各自己ノ行爲ヲ以テ他人ノ利

益ヲ妨害セザルトナリ、コノ利益トイフモノハ、或ハ明言

ノ約條ニ由リ、或ハ黙許ニ由リ、テ本人ノ權利ト爲テ受有ツ

施於他人
之行爲

第一行爲

ベキモノナリ。第二ニハ、人民各均シク勤勞ノ事ヲ分チ任
 シ。仲間會所ヲ擾害スルモノヲ防グコトナリ。コノ二個ノ守
 ルベク務ムベキノ行為ハ、人民ノ會社ニ報ユル所以ノ職
 分ナリ。モシ人民ノ中ニ、コノ職分ヲ避ケ逃ント欲スルモ
 ノアレバ、政府コレニ出銀ヲ命スル等ノ罰責ヲ加ヘイカ
 ニモシテ、強テ必スツノ職分ニ任セシムルコトヲ公義ニ合
 ヘリトスルナリ。コノ外ニ、又人民ノ爲事ニテ、他人ノ害ト
 ナリ、他人ノ安寧ヲ擾シ、他人ノ權利ヲ侵スモノアレバ、政
 府ニテ、必スツノ人ノ罪案ヲ糾シ、コレニ刑罰ヲ加フルコ
 ナリ。律法ヲ以テ刑罰ヲ行ハザル場合ニハ、タゞ異見ヲ言テ咎ムルコトナリ。蓋シ人民一己ノ
 行為ニツキ、政府ニテ關涉スベク關涉スベカラザルモノ

自由之理第四卷

二

トヲ定ムルニハ、總體人民ノ爲ニ福利ヲ増ヤ否ヤト問ヒ。
 コレヲ以テ判斷スルコトナリ。故ニ一人ノ行為何ニテモ他
 人ノ利害ヲ妨グレバ、政府直チニコレヲ處置シ裁判スル
 コトナリ。若シ一人ノ行狀一己ノミニニ關係シ、他人ノ利益ニ
 差響カザルモノハ、凡ソコレ等ノ類。政府絶テコレト交渉
 セズ。コノ一人ニ十分ノ自由ヲ與ヘ、律法ニ背カズ。會社ヲ
 妨ゲザルモノナレバ、ツノ志ノマ、ニ事ヲ行ハシメ、後來
 ノ成敗利鈍トモニツノ一己ニ歸セシメ、全クコレニ打ち
 任スベキナリ。

コ、ニ世人ヲシテ着眼セシムベキモノアリ。若シ自由ノ
 教道ヲ以テ、自ラ私スルノ教道ト思フトキハ、大ナル誤ナ

自由與自
私不同

是利人
之能便
人生福社
日崇

リ。譬へバ。今コ、ニ人アリテ曰ク。人一生ノ間。ソノ行フト
コロノ事。相互ニ他人ニ關係スベカラズト。又曰ク。人各自
己ノ利益ト相干カラザレバ。タトヒ他人ノ善行ノ爲他人
ノ福祥ノ爲ニ。利益トナルベキトアレド。各互ニ關係セザ
ルベシト言モノ、アランニハ。如何コレヲ自由ノ教道ニ
合ヘリトイフベシヤ。我才モフニ。決シテ然ラズ。コレ自ラ
私シスルニシテ自由ニハ非ズ。蓋シ世ヲ善クシ民ヲ利セ
ント欲スル人。即チ自己ヲ忘レテ他人ノ利益ヲ謀ル仁心
アルノ人多ク世ニ出ルニ非レバ。人生ノ福祉ヲ崇スル
ハ得ラルベカラズ。風俗ノ善良ニ進ムトハ。私心ナキ人ノ
カニ頼ル。官府ノ鞭笞勸諭ノ比スベキニ非ズ。マタ世ニ

自由之理第四卷

自ラ修善スルノ事ヲ重ンジ。ソノ身ヲ照顧スルヲ務ムル
人アリ。上ノ仁人ニ比シ。邦國總體ニ關係スル上ヨリ論ズ
レバ。算シテ第二等ノ人ト做ス。然レドコレ亦決シテ輕ン
ズベカラズ。何トナレバ。教養ノ事ハ。自ラ善スルト。他人ヲ
善スルトヲ兼テ修養スルナリ。教養ノ事ハ。自ラ確知スル
モノヲ以テ人ヲ説キ勸メ。或ハ強迫スルトアリ。然レド教養
ヲ受ル時限已ニ過タル後ハ。自ラ善シ自ラ照顧スル徳ノ
重ンズベキトヲ。丁寧訓告セザルベカラズ。○人タルモノ
ハ。相互ニ他人ノ爲ルトコロヲ觀テ。ソノ極善ノモノト。極
不善ノモノトヲ。比較分別シ。惡ヲ戒メ避ケ。善ヲ擇ビ取り。
カクシテ。相互ニ他人ヨリ補助ヲ受クベシ。才能ハ。愈々高

利益福祥
人々不同

曾哲之羊
來屈到之
芟皆其所
獨嗜也人
々嗜也
特思也
獨口也
味也

キモノヲ發出セント欲シ。性情意思ハ愈々賢智ニ進ミ。愚
昧ヲ免カレント欲シ。志望觀想ハ愈々清高ニ趨ム。汚下
ヲ離レント欲シ。競フテ共ニ奮發勸勵シテ已ザルベキナ
リ。抑モカクノ如ク相互ニ資助シテ進益ヲ得ルヲナレド
コレヲ要スルニ自己ノ身心ハ自己ニテ主張スルヲ大分
ニ居ル。故ニ年既ニ長大ナル人ニ向ツテ汝自己ノ利益ヲ
擇ンデコレヲ行フベカラズトハ人誰モ言ザルベク。コノ
權アラザルベシ。何ニトナレバ凡ソ人ハ自己ニテ自己ノ
福祥ヲ擇ビコレヲ消受スルヲ以テ第一ノ利益トセリ。コ
ノ利益ハ人々同ジカラズ各ソノ善ト思ヒ好ムトコロノ
生涯ヲ做シ得ルヲ福祥ト爲シ。利益ト爲ルヲナリ。譬へバ

自由之理第四卷

四

コ、ニ一人アリ。ソノ人自ラコノ上モナキ利益ト思ヘル
モノヲ他人ガ得タリトテ。瑣末ノ事トシテ心ニモ留ズ。マ
タ政府ニテ。コノ一箇ノ人ノ利益ヲ得タリトテ。九牛ノ一
毛ヲモ増ス。然ルニコノ人ニトリテハ。コレヲ得レバ。大利
益ト思ヒコレヲ失へバ。大損失ト思フ。ナリ。人ノ性情一
ナラズ。境遇各殊ナリ。故ニ尋常一樣ノ人ニテモ。自己ニテ
自己ノ性情ニ合ヒ。自己ノ境遇ニ適スルモノヲ知リテ。コ
レヲ擇ブ。ハ男女ニ限ラズ。他人傍觀ノモノニ愈レル。ハ
遠シ。是故ニ人々一己ニ關係シ自ラ着意スベキモノニ於
テハ。ソノ志向。ソノ判斷。固ヨリ全クソノ人々ノ自由ニ任
スベキ。理ノ當然ナリ。モシ仲間會所。即チ政府ニテ。ソノ

中ニ立入り。コレヲ壓服シ抑制スルトキハ。自ラソノ分際ノ外ニ踰テ。威勢ヲ逞マシウスルコトナリテ。不相當ノ事ヲ爲ス譯合ニナルベシ。タトヒソノ一事ニツキテ。政府ノ方ガ道理ニ合ヒタルニモセヨ。元來携ハルマジキ人民一箇ノコトニ携ハリシナレバ。ソノ理非曲直ハ。サテオキ。政府誤マリテ。權勢ヲ用ヒタル非理ニ陥イルコトハ。免カル。能ハズ。故ニ人生ノ事ノ中ニテ。カ、ル部分ハ。各獨自一箇ノ者ニテ。占ベキ田地ナリ。心ニ任セ事ヲ行フテ。當然ノ道トスルナリ。抑モ人相交ハリテ。他人ニ施コス所以ノ行狀ニ於テハ。一般ニ守ルベキ禮儀ニ循フベキヲ要ス。若シタゞ自己一箇ノミニ關カルコトハ。吾ガ自然ノ性ニ隨ヒ。情願ニ

自由之理第四卷

任セテ。自由ニ做シ行フコトヲ得ベキナリ。又他人一箇ノ身ニ關係スル事ニテモ。コレガ爲ニ。商量謀慮シテ。ソノ定斷ヲ助ケ。勸勵懲懲シテ。ソノ志意ヲ堅固ニシ。或ハ異見ヲ加ヘテ。コレヲ説服スル等ノ事ハ。固ヨリ相互ニ做シ得ベシ。然レ最後ノ決斷。最後ノ從違ハ。ソノ人ニ任スベキナリ。何ニトナレバ。吾ガ善ト思フコトヲ以テ。他人ヲ強迫シ。コレニ從ハシムルノ惡行ハ。他人ノ吾ガ勸戒ニ從ハザル迷誤ニ比スレバ。甚ダ大ナルガ故ナリ。然ト雖レ。コトニ著眼スベキコトアリ。吾ガ自ラ照顧シテ修ムルトコロノ德行。及ビ吾ガ身ノ缺行ハ。決シテ他人ノ毀譽ニ動カサルベカラズト。一概ニ自己ノミヲ信ジ。他人ノ

批判ヲ聞入ザルハ。決シテ善スベキトニ非ズ。且決シテ能
スベカラザルトナリ。今コ、ニ一人アランニ。ソノ人モシ
何ナル性徳ニテモ。自ラ修メテ。自己ヲシテ善美ナラシメ
バ。必ず他人ニ稱賛セラレ。美名ヲ得ベシ。コレ當然ノ事ナ
リ。ソノ人モシ自ラ性徳ヲ修メズシテ。大ニ缺行ノアラン
ニハ。必ず他人ニ謗毀セラレ。惡名ヲ得ベシ。マタ誰ニテモ
癡呆ナル行狀アルモノ。或ハ下劣ナル趣味ヲ有テ。或ハ全
ク趣味ヲ有テザルモノ。アラニニハ。縦ヒソノ爲トコロ。
他人ヲ害セズト雖也。必ず他人ニ嫌惡セラルベシ。特トシ
テ甚シキ場合ニテハ。他人ニ輕慢セラルベシ。蓋シ人相互
ニ我ニ反對スル性質ヲ有テル人ニ對スル時ハ。必ず嫌惡

自由之理第四卷

侮慢等ノ情ナキ能ハザルトナリ。カク他人ニ嫌惡輕慢セ
ラル、トハ。誰モ好マシカラヌト故ニ。コレヲ避免セント
欲スベシカ、ル場合ニテハ。嫌惡輕慢ニテモ。ソノ人ヲ戒
ムル所以ノ用ト爲リ。豫メソノ人後來受ベキ不快ノ事ヲ
異見シテ逃レシムル譯ニナルナリ。何況ンヤ。粗莽驕慢ナ
ル情態ナク。吾ガ中心ノ誠ヨリ出テ。他人ノ過失ヲ自由ニ
規戒スルニ於テヲヤ。ソノ人ノ爲ニ益トナルト。大ナルベ
シ。○マタ人各他人ノトニテ。我が氣ニ叶ハザル意思ヲ外
面ニ行ヒ出ス。トノ權利ヲ有リ。コレ他人ノ獨自一己ノモ
ノヲ壓抑スルニ非ズ。吾ガ獨自一己ノモノヲ行ヒ出ス。ト
ナリ。而シテコレニ種々ノ道アリ。例ヲ舉ハ。人各々自由ニ吾

人有顯嫌
惡之心於
外面之行
之推

過失毛病
縱止於一
已之行必
受他人之
責

ガ心ニ合ヘル朋友ヲ擇ンテ會社ヲ結ブノ權アリ。マタ吾
ガ心ニ合ハザル朋友會社ヲ避ルノ權アリ。マタ人各々吾
ガ心ニ誰某ノ會社ハソノ儀範談論等益ナクシテ害アリ
ト思ハミ。他人ヲ倣戒シコレヲ避シムルノ權アリ。又他人
ノ爲ニソノ一身ヲ修ムル所以ノモノヲ除キ選擇シテ善
モノニ從ハシメテ可ナリ。蓋シコレ等種々ノ道ニ由テ凡
ソ人ソノ一己ノミニ關係スルトコロノ過失毛病ニ由テ
他人ノ手ヨリ甚ダ嚴重ナル難儀ヲ受ルコトナリ。然レコレ
他人ヨリ故意ニコノ人ヲ苦シマシムルニ非ズ。自己ノ過
失毛病ノ因ヨリシテ得タル自然ノ刑罰ノ果ナリ。今コ
ニ入アリソノ人悍急冒昧頑固迂逆矜高自大ナル言行ヲ

自由之理第四卷

顯ハシ浪費亂用ニ慣ヒ恒産ヲ以テ生計ヲ倣スコト能ハズ。
私慾ニ徇ガヒ身體ヲ傷ルヲ顧ミズ肉體ノ歡樂ヲ貪ボリ
テ心靈ノ損害ヲ顧ミズ以上ノ過失毛病ノ中ニ一モアレ
バコノ人ハ必ズ他人ノ眼ヨリ卑視セラレベク。必ズ他人
恩眷ノ情ヲ已ニ得ルコト能ハザルベシ。カクノ如キ人若シ
他人ヨリ恩眷ヲ得ント欲セバ宜シク交際ノ間ニ勝タル
善事アルベク。又他人ノ爲ニ善有用ノ役ヲ爲ス聲名ヲ立
テ自己ニ屬スル惡病ヲ償フベキナリ。
他人ヨリ惡評ヲ受ル不便ノ事ハタママサニ自己ノ行狀
即チ自己ニテ善利ナルト思フモノニ止マリテ他人ノ利
益ニ關係セザルモノナルベシ。若シ行狀ノ害ヲ他人ニ加

自己之行
狀害及他
人者名之
為惡行

フルモノハコレヲ處待スルノ道全クコレト異ナルベキ
ヲ要ス即チ他人ノ權利ヲ侵佔スルコト自己ノ權利ニ屬セ
ヌモノニ於テ他人ニ損害ヲ加フルコト他人ト共ニ事ヲ處
スルニ假詐欺騙アルコト他人ト均シク利益ヲ分ツベキコ
ト於テ多ク自ラ取ルコト他人ト同ジク患害ヲ防グベキコ
ト於テ自ラ私ニ減免スルヲ務ムルコト凡ソカクノ如キコ
トハ人倫ノ禮法ヨリ譴責ヲ受ベク重案ニ至リテハ人倫ノ
禮法ヨリ刑罰ヲ受ベキナリ蓋シコレ等外面ノ品行ノミ
ニ就テ論ズベカラズカクノ如キ品行ヲ顯ハス所以ノ性
情ニ本ヅキテ見レバ正經ナラズ徳善ナラザルモノニシ
テ他人ニ嫌惡セラレ他人ニ可トセラレザルハ當然ノ事

自由之理第四卷

ナリ性情ノ殘酷ナルコト凶惡ナルコト交際ヲ嫌ヒ仇恨ノ情
アルコト内心誠實ナラズシテ外面ニ善ヲ装フコト瑣細ノ事
ニ怒リ易キコト少シク怒ヲ起スベキコト大ニ怨恨ヲ生ズ
ルコト好ンデ他人ノ上ニ出テ吾ガ意ノ如ク指揮スルヲ
欲スルコト自己ニ屬スル當然ノ利分ヲ以テ足リトセズシ
テ壟斷ヲ私シスルヲ欲スルコト他人ヲ卑下シテ自ラ矜高
ニスルヲ務ムルコト自負スルノ甚シキ凡ソ疑ハシキコトヲ
自己ノ羸弱ニ由テ斷ズルコト凡ソコレ等ハ人倫禮法上ノ
惡行ト名ヅクルコトナリ前ニ言ヘル自ラソノ身ヲ照顧ス
ルヨリシテ生ズル過失毛病ノ類ノ如キニ非ズ蓋シ過失
毛病ハ或ハソノ人ノ愚昧ナルニ由リ或ハ自ラソノ身ヲ

惡行与過
失異

重ヘズ。無分別ナルヨリシテ生ズルモノナリ。コレ等ハ。夕
トヒ如何イカ程甚シクナリタリトモ。惡行トハ名ヅクベカラ
ズ。夕ツツノ人一已ニ屬スルコトニテモ。他人ニ差サ響キキ。ツノ
職分ヲ缺ク場合ニ至リテハ。人倫禮法ヲ顧ミザル。放逸ノ
行トイハルベキノミ。凡ツ人。他人ノ爲ニ職分ヲ負ハズシ
テ。夕ツ自己ノ職分ヲ負ル場合ニ於テハ。即チ後來ノ備慮
ナシトイヒ。自ラ照顧敬重セストイヒ。及ビ自ラツノ才ヲ
發顯セストイヘル如キコトニ關係スルモノニ至テハ。他人
ノ利益ト。全ク關係セザルカ故ニ。算シテ惡行トハナサヌ
コトナリ。

思慮ノ缺少ヨリシテ。過失毛病ヲ得テ。自己ノ尊威ヲ失ヘ

自由之理第四卷

九

ルモノハ。他人ノ權利ヲ侵シテ。該當ノ罪ヲ得ルモノニ比
スレハ。大ナル殊異アルコトナリ。故ニ過失毛病アル人ニ向
ツテ。吾等性情ノ發スルコト。吾等行狀ノ仕向シムケ大ニ他人ノ權
利ヲ侵ス人ヲ待スルトハ異ナリ。蓋シコノ人モシ我等ヲ
怒ラスコトアレバ。我等吾ガ嫌惡ヲ言ヒ表ハシ。ツノ人ヨリ。
遠ザカルベク。又ツノ怒ルベキヨリ。遠ザカルベシ。然レ吾
ガ情ニ於テ。コノ人ヲ苦マシメ。ツノ生涯ヲ不快ナラシメ
ントハ欲セヌコトナリ。蓋シ過失毛病アル人ハ。ツノ自己ハ
過失毛病ヨリシテ。結ツベル惡シキ成果ヲ受ルコトヲ免カレ
ザルベシ。カク既ニ自ラ失敗シテツノ生涯ヲ殘ナヒタレ
バ。吾等ツレガ上ニ。ナホ又コレニ傷害ノ事ヲ加フルニ忍

ビザルナリ。カクノ如キ場合ニテハ、吾等コノ人ヲ罪スルヲ欲セザルノミナラス、ソノ自己ノ失行ニヨリテ得ベキ罪責ヲモ、コレガ爲ニ減免セララルベキヤウニト務ムルナリ。何ニトナレバ、コノ人ハ、吾等コレヲ悲痛シ、或ハコレヲ嫌惡スレド、コレヲ怒リ恨ムルナク、仲間會所ノ仇敵トナシテ、コレヲ待遇スルナシ、サリトテ、吾輩全ク彼ト關涉セズ、吾ガ仁慈ヲ以テ、彼ノ利益アルベキヤウニト示シ顯ハスヲ爲サズ、只管ニ彼ノ一己ニ任スヲ以テ公直トスルハ、甚ダ好カラヌナリ。コレニ反シテ、モシ人アリテ、ソノ夥伴即チ公衆ヲ守護スル爲ニ、必要ナル規則ヲ犯シ破ルトキハ、コノ行爲ヨリシテ生ズル害惡、コノ一人

自由之理第四卷

ノ上ニ被ムラズ、反テ他人ニ及ブベシカ、ル場合ニテハ、仲間會所總體守護ノ役目ナルガ故ニ、コノ一人ニ該當ノ罪ヲ負セ、コレヲ痛苦セシメ、十分ニ嚴重ナル處置ヲナサザルベカラズ、蓋シ惡行アルモノハ、吾輩コレヲ罪人トナシテ待スベシ。過失アルモノハ、苟モソノ他人ニ關係セザルモノハ、コレヲ痛苦セシメズ、ソノ自由ニ任スルナリ。人生ノ事ニツイテ、タゞ自己ニ關係スル部分ト、他人ニ關係スル部分ト、畫然二股ニ分ル、ソノ上ニ既ニ言タリ。然レド、コノ事ヲ善ク理會シ承允スル人、甚ダ少キナリ。コレヲ承允セザル人、必ズカクノ如ク疑問ヲ發スベシ。曰ク、コノ會友ノ行狀、何ナル部分ニテモ、他會友ニ全關係セザル

過失止ニ
已者任其
自由可也
此一章上
意下設疑
問以發之

己ノアルベカラズ。凡ソ人誰ニテモ全ク孤懸離隔スルヲ
 得ルモノニ非ズ。故ニ損害ノタビ一己ノミニ加ハリテ。他
 人ニ及バザルモノハ。決シテコレ無シ。或ハ近ク。或ハ遠ク。
 必ズコノ人ノ損害ヲ受ルコトナリ。譬ヘバ。コ、ニ一人アラ
 シニ。コノ人自ラソノ産業ヲ損壞シナバ。ソノ損害。必ズ一
 己ノミニアラズ。必ズ直チニコノ人ヨリ扶助ヲ受ル人ニ
 及ブベク。又中^{オカ}ニ人ヲ隔テ。コノ人ヨリ扶助ヲ受ル人ニ
 及ブベシ。蓋シ自己ノ産業ヲ破ルコトテモ。大小ノ差別ハ。
 アルベケレド。必ズ總體衆人ノ利益ヲ減ジ。損害ヲ加ハル
 コトナリ。ナリ。マタ譬ヘバ。コ、ニ一人アランニ。ソノ人身
 體^{モシ}若クハ心思ヲ壞リ。惡シクセバ。獨リクノ人ニ倚賴スル

自由之理第四卷

モノニ。害惡ヲ加ヘ福祉ヲ損スルノミナラズ。總體人タル
 モノ。一世ノ用ヲ爲スベキ職分ヲ盡ス能ハザルコトナリ。而
 メ。或ハ他人ヨリ務恤憐憫ヲ受ケ。他人^{ヤクカ}負擔トナルニ至ル
 ベシ。モシカクノ如キ行狀。屢々見ハル。トキハ。總體世ノ
 善良ナル人ヨリ。謗毀ヲ受ルコト。コレヨリ甚シキハ。無ルベ
 シ。且ツ推シテコレヲ論ズレバ。凡ソ人ツノ一己ノ惡行。呆
 事ニ由テ。直チニ他人ヲ害セズト雖。ソノ外ニ表^アハル模
 範ノ惡シキモノ。自カラコレニ附近交接スル人ヲ過惡癡
 呆ニ導ビクコトナレバ。カ、ル人ヲバ。宜シク強迫箝制シ。ソ
 レヲシテ自ラ克治修省セシムベキナリ。^{コノ説ノ不可ナルコトハ後ヲ讀バ知ラルベシ。}
 マタ疑問ヲ發シテ言ベシ。曰ク。縦ヒ過惡癡呆ノ行狀。無分

別ノ行狀ヨリシテ生ズルトコロノ損害特ニコレヲ行フ
人ニノミ被^{カク}ムリ他人ニ及バザルニモセヨ。コノ人畢竟自
ラツノ身ヲ統治スルコト能ハザルナレバ政府即チ仲間會
所ニ於テコノ人ヲ見放シ捨置^テク當然ノ道トイハルベキ
ヤ。今夫小兒及ビ年少ノ人ハ自ラ管治スル能ハザルガユ
エニ父母師傅或ハ他人ノ世話ニナリコレガ保護ヲ受ク
ルコトナリ。縱ヒ年已ニ長大トナリ生人シタリ用思慮未ダ
熟セズシテ過惡癡呆ノ行ヲ免カレザレバコレ即チ小兒
ニ等シ。何ノ故ニ政府ニテコレヲ保護セズシテ可ナルベ
キヤ。今夫奢侈ニシテ度ナキコト沈湎荒淫ナルコト懶惰ナル
コト及ビ臆^ヤ脂^ヤ不潔ナルコトコレ等ノ如キ人生ノ福祉ヲ妨害

自由之理第四卷

スルガユエ律ニ條例アリテコレヲ禁ゼリ。何故ニ過惡癡
呆ノ行狀ツノ害一已ニ止マルモノニ限リテ律法ヲ以テ
コレヲ禁ズルヲ不可トナスベキヤ。且夫律法ノ及バザル
トコロハ意見ヲ以テコレヲ補ヒ充ルコトナルニコレ等ノ
惡行何ゾ獨リ意見ヲ以テ嚴ニコレヲ禁制セザルベキヤ。
○要シテコレヲ論ズレバ人民獨自一己ノ品行ノ重スベ
キヲ知ラザル人カク論ズベシ。人生日用倣^ナ生^ヲノ模様及ビ人民ノ品行今日ニマデ用ヒ來
リ慣習スルモノヲ以テ足レリト爲スベシ。獨自一己ノモ
ノヲ新ニ造リ出シ創^テテ經驗シテ行ハント欲スルモノハ
宜シクコレヲ禁制シコレヲ隄防スベキナリ。何ニトナレ
バ世界創造ノ時ヨリ今ニ至ルマデ種々新異ノ事現ハレ

此論之非
讀後章即
知

庸俗之見
大抵如是

出タレドモコレヲ試ムルニ人生ノ爲ニ要用ナラズ利益
ナキモノト知ラル、ガ故ニ罪過ニ處セラレテツノ事廢
滅シタルナリ。然ルニ今日ニ至リナホモ獨自一己ノモノ
即チ新ニ創造スル品行及ビ做生ノ模様ヲ自由ニ行ヒ出
サシメント欲セバコレ即チ古人ノ既ニ無用ト定メ廢滅
セシモノヲシテ再ビ萌發長養セシムルナリ。蓋シ古ヨリ
今ニ至ルマデ許多ノ世代ヲ經許多ノ經驗ヲ積ミテ德善
ノ訓誨ヲ立テ高識卓見ヲ以テ眞確ノ道理ヲ定メラレシ
ナレバコレノ上ニマタコレニ増タル善教眞理アルベカラ
ズサルカラニ今日ニアリテ禁防壓束ヲ要スベキモノハ
古人ノ既ニ世ヲ害スルモノト定メタルモノヲ今人マタ

自由之理第四卷

十三

新ニコレヲ造リ出サントスルモノナリ。既ニ危險ナル陷
阱トナシテコレニ落ルヲ防ギシモノハ今人ニ告戒シテ
再ビ陷イラザラシムベキナリ。自由ノ理ヲ知
ザル人ノ論

凡ツ人自ラ一己ニテ爲ストコロノ害甚ダ他人ノコレト
附近シ利益ヲ共ニスルモノニ沾被シ又大ニ總體仲間ノ

上ニ波及スルコトナリ。コレ實ニ然レドモ一概ニ論ズベカ

ラザルモノアリ。分別シテ考思スベキヲ要ス。蓋シ人ツノ
爲トコロノ行狀ニ由テ己ガ任トシテ他人ノ爲ニ勤ムベ

キ職分ヲ失ヒコレヲ害スルトキハコノ人ノ爲ルトコロ

ヲ以テ自ラ照顧シ自ラ擇ベル行トシテハ許シ置ベカラ

ズ。コレ等ノ所行ハ自ラ照顧スル行狀ノ種類ニ非ズシテ

一已之行
雖不善
不欠誠分
則不宜受
譴罰

人倫禮法ニ違ヘル行狀ノ種類ナレバコレヲ譴責シテ改
メシムベキナリ。例ヲ舉テコレヲ言バ。今コ、ニ一人アラ
ンニツノ人放逸奢侈ニシテ債欠ヲ負ヒコレヲ還スル能
ハズ或ハ妻子ヲ養給スル能ハズツノ兒子ヲ教育スル能
ハザルトキハコノ人擯棄セラレ罰責ヲ受ル。當然ナリ
トス然レコノ人ノ罰責ヲ受ルハツノ債主及ビ妻子ニ向
ヒ盡スベキノ本分ヲ欠タルニ由リツノ身ノ放逸奢侈ナ
ルニ由ルニ非ズタトヒツノ一已ノ行放逸奢侈ナリトモ
債欠ヲ負ハズ兒子教養ノ事等行届キタレバ固ヨリ譴罰
ヲ受ベカラザルナリサルカラニ若マタ人アリテ金銀ヲ
積貯スルヲ務メ妻子給養教育ノ費ニ充ベキモノヲモ銀

自由之理第四卷

行高ニ預ケナバコレ亦上ニイヘル人ト同ジク妻子ノ爲
ニ盡スベキノ本分ヲ欠キタルナリ奢侈吝嗇ノ異アレバ
ツハ罪ヲ人倫禮法ニ得ル所以ハ同ジキナリ。ジヨウヂバー
ン
ウ
五
ト
イ
ヘル
人
ツ
ノ
伯
叔
ヲ
殺
シ
金
錢
ヲ
得
テ
ツ
ノ
愛
ス
ル
婦
人
與
ヘ
レ
ニ
由
テ
姦
刑
ニ
處
セ
ラ
レ
シ
ア
リ
キ
モ
シ
コ
ノ
バ
ー
ン
ウ
五
職
業
ヲ
始
ム
ル
爲
ノ
本
錢
ヲ
得
ン
ト
欲
シ
コ
ノ
惡
行
ヲ
犯
シ
タ
リ
ト
モ
同
ジ
ク
姦
刑
ニ
處
セ
ラ
ル
ベ
シ
蓋
シ
ツ
ノ
罪
ヲ
犯
ス
原
因
即
チ
ツ
ノ
一
已
ノ
行
狀
ニ
關
係
ス
ル
モ
ノ
ハ
コ
ノ
二
者
異
ナ
レ
バ
ツ
ノ
犯
セ
ル
罪
惡
ハ
同
ジ
ケ
レ
バ
ナ
リ
又
屢
々
人
ノ
惡
習
ニ
染
ミ
家
人
ヲ
シ
テ
愁
痛
セ
シ
ム
ル
モ
ノ
ア
リ
コ
ノ
人
ハ
家
人
ニ
對
シ
恩
愛
ノ
情
ナ
キ
ヲ
以
テ
非
斥
ヲ
取
ル
ベ

シ。然レモ。コノ人。自己ノ身ハ。惡癖ニ耽ルトイヘモ。ソノ家
人ヲバ。惡カラザル慣習ノ中ニ養ハシメタリ。故ニソレヲ
シテ。コノ人ノ惡習ヲ痛マシク思ハシメタルナリ。モシソ
ノ家人ヲモ惡習ニ染シメ。コレト共ニ化シテ。自ラ知ラザ
ラシメタラバ。愁痛ヲ覺ヘシメザリシナルベシ。凡ソ人。誰
ニテモ。他人ノ利益。他人ノ心情ヲ察思スベキモノヲ。失ヒ
誤マルトキハ。コノ失誤ノ爲ニ。非ヲ取ルベシ。然レモ。ソ
ノ失誤ヲ致ス所以ノ原由。及ビソノ一身ニ止マル過失ニ
於テ。他人ヨリ非ヲ受ベキコトニ非ズ。コレト同様ナル譯
ニテ。若シ特ニ自ラ照顧シ。自ラ擇ベル行爲ニ由テ。邦國公
衆ハ。爲ニ定マリテ。做スベキ職分ヲ盡サレバ。コノ人罪。

自由之理第四卷

十五

責ヲ得ベシ。コレソノ行爲ヲ罪スルニ非ズ。職分ヲ欠タル
ニ由テ。罪ヲ得ルナリ。サルカラニ。人々酒ヲ飲ム。罰責ヲ加
ヘラルモ。ハ。アラザルベシ。然レモ。兵卒或ハ巡
吏。守衛ニアタリタル時ニ。酒ヲ飲ム時ハ。罰責ヲ受ルコトナ
リ。約シテコレヲ言ヘバ。何ノ時ニテモ。凡ソ事ノ明ニ他人
ヲ損害シ。及ビ公衆ヲ損害スルモノハ。自由ノ境地ヨリ趕
出サレテ。倫常或ハ律法ノ境地ニ。轉住セシメラル。コトナ
リ。

然リト雖モ。コトニ着眼スベキコトアリ。凡ソ人。官府即チ公
衆ニ向ツテ。ソノ做ベキ職分ヲ欠ズ。他人ニ向ツテ。顯然ナ
ル損害ヲ爲ザレバ。縱ヒ偶然ハ。害ヲ政府即チ仲間會所ニ。

偶然之害
政府忍之
以伸自由
之理

爲ストモカクノ如キ不便ノ事ハ政府ニテ忍ブベシコレ
他ナシ政府ニテ偶然ノ害ヲ忍ビ自由ノ理ヲ伸スハ人生
ノ大善大吉ナレバナリ年紀長大ナル人ハ縦ヒ身ヲ慎シ
ミ修ムル能ハストモ政府ニテコレヲ罪スル理ナシ然リ
ト雖モ人ヲシテ年紀長大ニナルマデ尋常ノ道理ニ合フ
行狀ヲ知ラザラシメソノ顯著セル不法ノ事ヲ爲^{ナス}ヲ待テ
然ル後コレヲ罪スベシト言ハ大ナル誤ナリ何^{イカ}ニトナレ
バ政府即チ仲間會所ハ人民ノ幼少ナルモノヲ教養スル
トニ於テ十分ノ權ヲ有テリ故ニ兒童ヨリ弱冠ノ比ニ至
ルマデニソレヲシテ道理ヲ知り品行ヲ造リ出サシムル
トハ仲間會社ノ職分ニ屬ス蓋シ當今ノ世ハ後世ノ教養

自由之理第四卷

真成如是
非謙辭也

ノ師ナリマタ凡百形勢ノ師ナリ然リト雖モ當今ノ世智
識未ダ満足セズ政俗未ダ完善ナラス究^キメテコレヲ言ヘ
バ歎息哀哭スベキホドニ仁善ノ事未ダ備ハラス學問ノ
事未ダ開ケザルナリ今世ノ人自ラ智^チ乏シク善^チ少ナキガ
故ニ後世ヲ訓^{オシ}ヘテ智識満足シ政俗完善ナラシムベキヤ
ウナシ就中人民獨自一己ナルモノ、境地ニ於テハ今世
ノ勉力サラニ後世ニ益アラス然^レモ今世ハ後世ヲシテ今
世ヨリ善カラシムルト^ナク做^ナシ得ベク後世ハ今世ニ賴^リテ
今世ヨリ勝^レタルモノトナルベキナリ若シ政府即チ仲
間會所ニテ許多ノ人民ヲシテタゞ小兒ノ如ク智慮遠力
ラザラシメバ政府ソノ責ヲ逃ルトコロナシ蓋シ人未

政府宜勿
惡久民有
勢力之品
行者

ダ成丁セザルモノハコレガ善ヤウニトツノ一已ニ屬ス
ルトマデモ世話ヲスルハ仲間會所ノ職任ナリ既ニ成丁
シタル人ニ至リテハツノ一身ノ事固ヨリツノ獨自一已
ニ任スベクコレヨリシテ生ズル吉凶禍福ツノ自ラ招キ
致スニ任スベキナリ抑モ政府ニテハ教養ノ權アルノミ
ナラズ意見ノ權アリテ人民ノ自ラ判斷スル能ハザルモ
ノヲシテ已ガ意見ニ從ハシメ又刑法ノ具アリテ徃々已
ガ嫌惡輕賤スルモノヲシテ枉テ苦厄ヲ受シメシ惡弊ア
リシコトユエニ政府即チ仲間會所ニ於テハ謹ンデ多ク權
勢ヲ得ント要スル勿レ人民一已ノ言行即チ自己本心ノ
裁斷ニ任スベキモノニ於テ或ハ命令ヲ出シツレヲ強迫

自由之理第四卷

シテ凜從セシムルヲ宜シク政府ノ爲スベキトコロニ非
ズ○人ノ行為ハ日ニ就リ月ニ將ヲ貴トブカクノ如キ行
爲ハ必ズ勢カアリテ他人ヲ感移スベシ然ルニ若シ政府
ニテ勢カアル品行ヲ惡ミコレヲ凌辱シ妨礙スルトキハ
世道ヲシテ日ニ下ラシムルヲコレヨリ甚シキハナシ抑
モ尋常庸衆ノ人ハ日用行事ノ制度即チ政府ニテ定ムル
トコロノモノヲ守リタトヒ強ラルレドコレニ從フベシ
然ドモツレガ中ニ精神力量アリテ自主自立ノ品行アル
人アレバ必ズツノ制度ニ安ンズル能ハズコトハ軼ヲ脱セ
ント欲シテ悖リ叛クベキナリ蓋シカクノ如キ人ハ自己
ノ行狀吾身ニ關係スルモノ固ヨリ他人ニ管轄セラるベ

政府擅權
之惡行是
為後世戒

行狀人民
宜有擇不
管他人
職分人
宜有盡以
資他人

キ理ナク、他人ニマタ吾身ヲ管治スルノ權アルベカラズ
ト思フガ故ニ、關係スマジキトニ關係スル、借越ナル政府
ハ命令ト正ニ背反スルトヲ爲シ、剛勇ニシテ恐懼セズ、遂
ニ容易ク政府ニ指目セラル、トナリ、英王查爾斯第二ノ
時ニ當リ、彪力單ノ徒ヲ寬許セザルヨリシテ、彼等狂
妄ノ舉動ヲ爲スニ至レリ、抑モ古ヘ政府ニテ、威權ヲ擅マ
ルニシタル惡行ハ、後世ニ示ス善キ鑒戒トナリ、後ノ政府
ヲシテ覆轍ヲ躡ラシムルヲ得ベシ、何ニトナレバ、暴惡
ヲ爲シキハ、必ス災禍アリテコレニ從ガフ、ツノ暴惡ノ害、
或ハ他人ニ及バズトモ、ツノ自己ニ被ムルトハ、遠ルベカ
ラス、總テコレヲ論ズレバ、政府惡行ノ先蹤ハ、後世ノ損害

自由之理第四卷

トナラスシテ、反テ健全ノ益トナレリ、總體ノ公論ハ、一人
ノ私行ニ關係スベカラズ、一人ノ私行ハ、タツノ人一身
ノ行狀ニ屬スルモノニテ、政府即チ公論ニテ關係スベキ
モノニアラス、蓋シ政府ニテコレニ關係スルトキハ、多ク
ハ非ナル一邊ニ歸スルユエ、コレヲ防ギ、強ク議論スルユ
トナリ、抑モ人タルモノハ、各々自己ニテ修ムル、即チ自己
ニテ擇ミ好メル行狀ノ即チ一人アリ、及ビ總體公衆、即チ政府
ノ爲ニ務ムベキ職分アルトナリ、モシ人苟クモ人倫禮法
ノ上ニテ、他人ニ向ヒ爲スベキ職分ヲ缺トキハ、公衆ノ意
見、總體即チ黨類多ク、勢力強キ一方ノ意見ヲ以テ、判斷ス
ルヲ是トナシ、當レリトス、時トシテハ、意見是ナラザル

多不異黨
強不犯弱
人民宜行
自好者

アレドモカクノ如キ場合ニテハ決テ公論即チ政府ニ取
ルヲナリ何ニトナレバ職分ヲ缺クル行爲ヲ咎メズシテ
許シタランニハ總體ノ利益ニ關係シコレガ損虧ヲ受ル
コアルベキガ故ナリコレニ反シテ人民一己ノ行爲即チ
自ラ照顧シ自ラ好ミ揀セベル行狀ニ於テハソノ意見ノコ
レニ與スルモノ少シト雖厄黨類多ク勢力強キモノニ屈
抑セラルベカラズ若シ公衆即チ政府ニテコノ一己ノ行
爲ヲ喜バザル故ニ律法ヲ以テコレニ加フルトキハ甚ダ
不當ナリトスルナリ蓋シカクノ如キ場合ニテハ所謂公
衆ノ意見即チ政府ノ是非ハソノ本人ノ自ラ好ミ自ラ揀
ビ自ラ便利ト思ヘル行爲ヲ毫モ體諒セズシテ唯他人ノ

自由之理第四卷

議論スル是非ニ從フガ故ニコレヲ不當ナリトス○世ニ
許多ノ人アリテ己ガ心ニ嫌ヘル他人ノ行狀ヲ以テ己ニ
向ヒテ害ヲ做スト思ヘリ即チ己ガ性情ニ逆ラヒ殘害ヲ
爲スト思ヘリ恰モ教法ニ固泥スル人少シモ他人ノ教法
ノ情ヲ察セズコレヲ以テ他人ヨリ責ラルトキハ反責
シテ彼等吾ガ情ヲ察セズシテソノ嫌ヒ惡ムベキモノニ
固執シコレヲ尊信ストイフガ如シ蓋シ甲ノ人ソノ自己
ノ說ヲ守ル情ト乙ノ人ノコレヲ怒ル情トハ甚ダ異ニシ
テソノ相怨察セザルコト譬ヘバ盜賊ノ情ハ他人ノ銀袋ヲ
取ラント欲シ銀袋ヲ有ル人ノ情ハコレヲ保守セント欲
スルガ如シ人ソノ自己ノ好ミ揀セベル滋味意趣ハ特ニソ

以公論定一人之私行不可也立典則同天下之教訓更不可也

論不必善私行不
必惡以典
公論者為
惡弊惑矣

ノ一已ニ甚ダ關係傾注スルヲ恰モソノ人ノ銀袋ノ如シ
他人ノ銀袋ヲ視ルトハ大ナル差別アルヲナリ故ニ自己
ノ意見自己ノ銀袋均シク至重ナル關係ヲ有ツヲナリ○
世人才モヘラク不定ノ事ハ人民ノ自由ニ任セソノ揀擇
ニ信セテコレヲ滋擾セザルベシ特ニ世上ニテ既ニ經驗
シテ罪過ト定メタル行狀ハコレヲ戒メテ為サラシムベ
キヲ要スト歎モスレバカクノ如キ公論ヲ以テ善モノト
思フヲナリ然レ余コ、ニ疑問ヲ入レント欲スソノ所謂
公論ニテ譴責スルモノニ限界アリシヲ見ラル、ニヤ何
ノ時ニカクノ如キ總體ノ經驗ヲ世間一同ニテ為セシニ
ヤ吾思フニ公論ヲ以テ各自一己ノ行狀ノ事ニ立入ルト

自由之理第四卷

キハ公論ニ異ナルモノヲ以テ惡弊ト定ムルヨリ外ノ思
想ハアルベカラスサルカラニコノ定斷スル典則東方君
主ノ國
ニテハ欽定御ニテハヲ擧ゲ舉テ命令ト為シ衆民ヲシテコレニ
遵依セシム即チ理學ニテモ教法ニテモソノ書ヲ著ハセ
ル人々ノ中ニテ十分ノ九ツノ說合スレバ立テ典則命令
ト為スヤウナル情勢ニ成行クヲナリコノ典則命令即チ
善教ヲ設クル人ノ訓戒ハ自ラソノ心ニ是ト思フガ故ニ
コレヲ以テ普ク行爲ノ律法ト為テ他人ヲ練縛スルモノ
ニシテ公論マタコレヲ以テ善トト思ヘリカ、ル智慮貧
シキ公論ニテハソノ是トスルトコロノ教訓ヲ用ヒ立テ
典則トナシコレヲ以テ舉世天下ノ當做ノ務ト為ント欲

以下等政
府誤用權
勢侵佔人
民之自由
者之例

シコレヲ以テ極好ノ事ト爲シテ、曾テソノ他ニハ思到ラザルコナリ。

以上指シ示ストコロノ惡弊ハ、理論上ニアルノミナラス。今世ニ於テ、實事ノ上ニアルコナリ。即チ所謂公衆ト稱シ、政府ト稱スルモノ、自己ノ選擇好尚ヲ以テ、倫常ノ律法ノ中ニ立雜ハリ、不相當ノ事ヲ爲スコナレバ、予コ、ニツノ例ヲ收舉シテ説キ明サント欲ス。蓋シコノ許多ノ例ヲ觀ルトキハ、モトモト善キ教訓ヲ以テ治化ヲ施ストイフモノ、境界ヲ廣メ、人民各箇ニ屬スル當然ノ自由ヲ侵佔スルコト、人心ノ偏向、世俗ノ通弊ナルコトヲ知ルニ足ベシ。第一、人情已ニ異ナル教法ヲ嫌ヒ惡ムコトノ例ヲ舉ベシ。

自由之理第四卷

回々教公
論之弊

蓋シ、己ガ教法ノ根源理論、他人ノ教法ヨリ勝レタルモノアルニ非レズ。己ガ教法ニテ守ルベキ規法ヲ守ラズ。己ガ教法ニテ禁ズルモノヲ食フヲ見レバ、早ク己ニ他人ノ教法ヲ嫌ヒ惡ムモノナリ。回々教ノ人、疑ヲ以テ不潔ト爲テ食ハズ。故ニ西教ノ人ノ疑ヲ食フヲ見テ、甚ダコレヲ嫌ヒ惡メリ。又回々教ニテハ、酒ヲ飲、一ヲ禁ズ。コレ酒ヲ嫌フ故ニ非ズ。飲酒ノ事ヲ、過惡ト思ヘルガ故ナリ。ソノ疑ヲ嫌フハ、天性ニ出ルガ如ク、日用平素ノ事ニハ、清潔ニセントテ深シク吟味セザレドモ、コノ一事ハ、教法ニテ不潔ト爲シテ、總體ニコレヲ嫌ヘリ。印度人ノ教法ヨリ生シ來ル不潔ト定ムル説、ソノ勢甚ダ強猛ナルガ如キ、亦著シキ例

トナスベシ。試ニ思ヘ。今何ノ國民ニテモ。回教ヲ信ズルモ
ノ。過半ノ數ニ及ビナバ。必スコノ多數ノ一半ノ民イハユ
ル公論ニテ。訓規ヲ設ケ。嚴シク境内ノ民ヲ禁ジテ。彘ヲ食
フヲ許サザルベシ。蓋シ回教ノ國々ニテハ。カクノ如キ事。
珍ラシカラズ。カク人民行儀ノ上ニ。公論ノ權勢ヲ施コシ
行フ。理ノ當然ニ非ズ。然ルニ回教ノ國民。真心ニオモヘ
ラク。彘ヲ食フ。ハ上帝ニ禁ゼラレ。憎マル。ト。故ニ彘ヲ
食フヲ以テ罪惡ト爲シ。西教ノ人ヲ惡メリ。サレドモ。何ノ
教法ニテモ。彘ヲ食フヲ以テ職分ト爲ルモノアラザルベ
ケレバ。コノ禁制ヲ以テ。教法ノ窘逐トシテハ。議スベカラ
ズ。要スルニ。關係スマジキトニ。關係スルモハト爲テ。非議

自由之理第四卷

士班公論
之弊

スベシ。何ニトナレバ。人民一箇ノ好メル趣味及ビ自ラ擇
重ンズル事ニ於テハ。公衆即チ政府ニテ立入り關係スベ
カラザルガ故ナリ。士班ノ人民ハ加特力教ノ禮儀ニ從ハ
スシテ。至上造化主ヲ拜スルヲ以テ。大不敬ト爲ス。故ニ士
班ノ國中ニ於テ。大衆禮拜ノ時。モシ加特力ニアラザル儀
ヲ用フレバ。律法ヲ犯ス。トニナルナリ。歐羅巴中南方諸國
ノ人民ハ。牧師ノ婦ヲ娶ル。トヲ嫌ヒ惡ミ。教法ノ禁ヲ破ル
ノミナラズ。汚穢ニシテ。真正ナラスト思ヘリ。波羅的士但
教。即チ新教ノ徒ヨリ。コレヲ觀レバ。真ニ頑固ナルベケレ
ル。然ドモ。コノ加特力教ノ人。ソノ已ニ異ナル說。即チ新教
ノ徒ニ敵シ。勉メテ已ニ從ハシメントスル情ハ。丹誠ニ發

シテ虚偽ナラス。且他人ノ利益ニ關係セザル事ニ於テハ、
人々互ニ他人ノ自由ニ立チ入ルトモ不法トハセザルト
故ニコノ加特力ノ人ノ爲ルトコロヲ獨リ准スベカラザ
ル理ナシ。況ンヤ彼等ノ心ニコノ事ハ神人ノ眼ヨリ醜汚
ト見ラル、ト思ヒカヲ極メテ壓住スルコトナレバ、人誰モ
コレヲ責尤ムルコト能ハザルベシ。
抑モ新教ヲ窘逐スル人ノロヂック辯論ニ曰ク、我ヨキ是ナルガ
故ニ我彼ヲ窘逐スベシ。彼非ナルガ故ニ彼我ヲ窘逐スベ
カラストイヘリ。コレ擅ニ自ラ是トスルノミニテ他人ノ
是ヲ察セズ、不公平ノ至ナリ。我輩カクノ如キロヂックヲ用
ヒザルコトナラバ、必ズ謹ンデ彼ノ爲ルトコロニ效尤スル
コト勿レ。

自由之理第四卷

以上掲舉スル例ノ如キモノハ、英國ニテ今誰モ許准セザ
ルベシ。蓋シ肉食ノ禁戒ヲ強ズ、禮拜ノ儀及ビ督娶ノ事モ
人々ノ好尚ニ任セ、傷人ヨリ嘴ヲ挿ハサマザルコト、總體人
民ノ説トナリタレバナリ。コノ次ニ舉ルトコロノ例ハ、人
民自由ノ境地ニ立チ入ルコトニテ、ソノ危難未ダ過ギ去ラ
モノナリ。昔シ英國コムモンウエルス百姓ノ時、及ビ亞米利加
ニ於テ、彪力彪力單清潔ノ徒、權勢甚ダ強クシテ、公私ヲ論ゼズ、
凡ソ玩耍要歡娛ノ事ヲ止ルヲ務メ、奏樂跳舞、及ビ勝負ノ遊
ビ、劇場等ヲ禁ゼシガ、ソノ事大ニ成就シケリ。今日英國ノ
中ニ許多ノ人アリテ、ソノ善教善教ソノ宗派ノ説ニハ、凡ソ敬

懷歡娛ノ事ヲ罪惡ト爲セリ。コノ說ヲ執ル人ハ大抵中等ノ種族ニテ國政ニ關カリ權勢ヲ得ルモノナリ。故ニ他日或ハ巴カ門公會ニ於テコノ說ノ人過半ノ數ニ及ビナバ歡娛ノ事ヲ禁ズルニ至ルマジトモイヒガタシ。然ラバ人民ノ殘ノ一半即チコノ說ニ同セザルモノ歡娛ノ事ヲ好ムモノハツノ不便ト思フ。イカバカリゾヤ。ツノ歡娛ノ事ハ加爾平ノ教派及ビメソチスノ教派ノ如キ極メテ謹嚴ナルモノト雖モ許シ置ルモノナルニ一旦コレヲ禁制セントスルハ過甚ニ失スルニ似タリ。然ルニ政府トイヒ公衆トイヘバ動モスレバツノ心ニ非ト思ヘル歡樂ヲ公禁ト爲シ衆人ヲシテコレヲ消受セシメザルナリ。昔シ英人

自由之理第四卷

二十四

犯自由等
二例

亞米利加ニ始メテ移リシ時。マタカクノ如クナリキ。マタコノ自由ノ境地ヲ侵佔スル例ヲ舉ベシ。即チ民治ノ國ニ起レルモノナリ。合衆國ニ於テ入アリテ日用ノ生涯ヲ做スニ華奢常度ニ踰レバ人民大半コレヲ嫌惡ス。コレヨリシテ費用ノ制度トイヘルモノ立タリ。故ニ闔國許多ノ人民ノ大産ヲ有テルモノ金錢ヲ消費シテ他人ニ嫌ハレザル方法ヲ覓メント欲シテ得ガタキ情景トハナレリ。コレ蓋シ人民自己ニテツノ所入ヲ費ス所以ノ有様ヲバ公衆即チ政府ニテ禁制スルノ權アリトイヘル說アリテ人民ノ情ト合和シテカナル結果トナリシナリ。○ソシアリストトイヘル黨類アリテツノ說大ニ弘マルコノ說ヲ執ル人

ノ目ヨリ觀レバ、極小産資ノ數ヨリ踰テ多ク有ツ人タモ。及ビ
手工ヲ爲スシテ所入ノ利ヲ享用スル人ヲ醜穢ノ人ト思
ヘリ。工匠ノ中ニ行ハル、説マタコレニ似テ多數ノ人ノ
意見イロイロ少數ノ人ヲ壓制スル弊習アリ。蓋シ工人多數ニ居ル
ガ故ニ、何ノ職業ニ限ラス凡ソ工人ノ中ニ流行スル説ニ
オモヘラク、良工ト雖レツノ得ベキ工錢ハ、拙工ノ得ルト
コロヨリ多カルベカラズトテ、或ハ言語ヲ以テ時トシテ
ハ、カヲ以テ、良工及ビ良工ヲ用ル人ヲ恐嚇シ、常ニ踰タル
酬銀ヲ受ケ、及ビ與フルヲ得ザラシムルナリ。若シ公衆總
體カ、一人ノ私便ニ挿嘴スルヲ以テ直トスルコナラバ、コ
ノ工人ノ公衆ニテ、一箇工人ノ私事ニ關涉スルヲ以テ、不

自由之理第四卷

二十五

直トハ爲スベカラズ。蓋シ世間一般ノ公衆ニテ保ツトコ
ロノ權ハ、分股ノ公衆ニテツノ權ヲ保ツトモ、コレヲ咎ム
ベキニ非ズ。

大意オモヘラク、公衆即チ政府ニテ、一人ノ私行ニ立チ
入ルベカラズ。多數ノ工人ニテ、少數ノ良工ヲ抑壓スベ
カラズ。然ルニ、公衆モシ私事ニ挿嘴スル有様ナレバ、コ
ノ多數ノ工人即チ分股ノ公衆ノ爲ルトコロノミヲ、咎
メカタカルベシ。

上ニ云ルモノハ、ナホツノ弊害ノ輕キモノニテ、今日ニ至
リ更ニ甚シ。人民家私ノ行狀マデニモ、公衆即チ政府ニテ
立チ入り、ツノ自由ヲ侵奪セントシテ、ツノ勢殆ンド成就

セントスルモノアリ。蓋シコノ議論ニテハ、公衆〔即チ政府〕ニ、無限ノ權勢ヲ許シ與ヘ、公衆ニテ否ト思フコトヲ、律法ヲ以テ禁制スルノミナラス、元來罪ナシトシテ許セル事マデヲモ、禁制セント欲スルナリ。真ニ驚クベキ說ナリ。縱飲^{新州}ノ防グトイヘル名ニテ、英國ノ一ノコロニ^府。及ビ大約合衆國ノ一半ニ於テ、法ヲ立テ、藥用ノ外、一切酒ヲ用ルヲ禁ジタリキ。即チ酒ヲ賣ルヲ禁ズルヲ以テ、酒ヲ用フルノ禁トナセリ。然ルニ、コノ法行ハレ難クシテ、合衆國中ノ諸國ニテ、コレヲ廢スルニ至レリ。始テコノ法ヲ設ケ、^シ國モ、ツノ中ニアリキ。カクノ如キ行ハレザル法ト雖、^凡英國ニ於テ、許多ノ人、熱心ニコレヲ行ハント企^シタリ。コレ

自由之理第四卷

ガ爲ニ會所遂ニ立チ、國政ニ與^スル人ニコレト文書ヲ通ズルモノアリシカバ、コノ事、世ニ著^イシクナリ。勞爾德斯丹禮^イマテ、不幸ニレテ、コノ說ニ左祖セリ。コノ會所ノ主事人、他^キ說ノ妨^クケンヲ患ヒ、議論ヲ立テ、曰ク、凡ソ思想意見及ビ自ラ知^ルノ良心ニ屬スルモノハ、律法ノ外ニシテ、官府コレト相關カラズ。人倫相交ルノ行爲、及ビ習慣風俗ハ、國政ノ權ニ屬シテ、人民箇々ニ屬セズト云リ。コノ說、甚ダコノ書自由ノ理ト異ナリ。蓋シ人民ノ行爲習俗ハ、仲間會所ニ屬セズシテ、人民各箇ニ屬スルコトナリ。飲酒ノ事ハ、人民ノ行爲ニ屬スルコト、明白ナレバ、官府ニテコレニ關係スベキ理ナシ。抑モ酒ヲ賣ルハ貿易ナリ、而メ貿易ハ、人倫相交ルノ行

爲ニ屬セリ。然ルニ賣酒ヲ禁ズル時ハ賣ル人ノ自由ヲ犯スニ非ズシテ買テ飲ム人ノ自由ヲ犯シツレヲシテ寛抑不平ナラシムルコトナリ。然レコノ會所ノ主事人曰ク余自由ノ人ノ得ベキ交際上ノ權利ヲ得ンコトヲ法ヲ執テ討ムルナリ。吾ガ交際上ノ權利モシ他人ノ行爲ニ由テ侵佔セラル、時ハ律例ヲ立ル權利ヲ得ルヲ討ムルナリ。即チ今日賣酒ノ事吾ガ交際上ノ權利ヲ侵セリ。コノ事吾ガ交際上ノ紛亂ヲ生長鼓動シ吾ガ保護ノ首要ノ權利ヲ壞レリ。コノ事常ニ人ノ災難ヲ造リテ利益ヲ得余ヲシテ貧人ヲ扶助スル爲ノ稅ヲ出サシメ吾ガ人類均平ノ權利ヲ侵セリ。コノ事吾ガ才智德善ノ自由ニ發出スル權利ヲ妨ゲ吾

自由之理第四卷

二十七

ガ行トコロノ道路ニ危難ヲ以テ圍繞シ吾ガ相交ハリ相助ケンコトヲ討ムル仲間總體ノ風俗ヲ壞レリト云リ。以上主事人ノ交際上ノ權利ヲカクノ如ク議論スルコトハ我が未ダ聞ザルトコロナリ。コノ理論ニ據ルトキハ人民各箇ノ實ニ有ツベキ交際上ノ權利トイフモノハ何ニ限ラス。他人ノ行恰モ我が行ノ如クナルベシトイフコトナリ。是故ニ他人モシ少ニテモ我が行ノ如クナラザルトキハ我が交際上ノ權利ヲ侵スコトナリ。我立法者ニ向ヒコノ屈抑ヲ伸理スルヲ討メテ當然ナリトイフナリ。カクノ如キ奇怪ナル道理ハ其他ノ自由ヲ阻礙スルモノニ比スレバツノ危害遙ニ多シトス。何ニトナレバコノ道理ニテハ自由ヲ犯シ

破ル事ニテ。是ト稱セラレザルモノナシ。コノ道理ニテハ。何事ニモ自由ノ權ヲ許サズ。特ニ他人ノ陰ニ胸中ニ藏スル意見ヲ許スノミ。故ニ吾ガ害アリト思フ意見。忽チ他人ノ唇ヨリ出ルトキハ。コノ會社ニテ許セル我が交際上ノ權利ヲ侵ストナシテ。コレヲ禁阻スルヲ討ムベシトナリ。コノ教道ハ。凡ソ人タルモノ。徳善才智。及ビ身體ノ事。ミナ自己ヲ以テ度尺トナシテ。他人ニ討求スル利益ヲ受クベシト云ナリ。自由ヲ害スルノ說。コレヨリ甚シキモノアラシ。

ソノ他。人民各箇ノ自由ノ權ヲ不法ニ侵ス。ソノ例ヲ擧ヘシ。即チ安息日日曜日ノ法例ナリ。コノ事。久シク既ニ行ハ

自由之理第四卷

ルト雖也。人民自由ノ理ニ悖レリ。週七日ゴトニ。一日ヅハ。職業事務ヲ休息スルハ。縱ヒ法教ニ關カラスト雖也。大ニ利益アル習俗ナルハ。疑アルベカラス。コノ習俗ハ。凡百工業ノ人。一般ニ許シ肯ガフニ非レバ。遵ガヒ守ル能ハズ。蓋シ甲ノ人。安息日ニ工業ヲ做ストキハ。必ズ乙ノ人。休息スルモノ。利益ヲ奪フヨリ。自ラ乙ノ人モ。工業ヲ做サルヲ得ザル情事ニ成行ヲ恐ル。ガ故ニ。法例ヲ立テ。大工場ニテ。コノ日ニハ。工人ヲシテ。盡ク休息セシメ。コノ習俗ヲ守ラシムル。固ヨリ允當ナリトス。然レ畢竟コノ法。モト他人ノ休工ヲ以テ。直ニ己ガ利益トスルノ弊ヲ防ガンガ爲ニ。立タルモノニ過ザレバ。コノ休暇ヲ用ヒ。自ラ擇ベル

工業ヲ做ス人ニハ用ヒラルベカラズ。マタコノ休暇ヲ歡樂ノ事ニ用フルトモ律法少シモコレヲ約制スルナキハ勿論ナリ。サテコノ休暇ヲ工業ナリ歡樂ナリ。諸工人ノ自由ニ任スルトキハ自ラソノ間ニ都合宜シキヤウニナリ又ベシ。甲ノ歡樂ハ乙ノ是日ノ勞工ナリ。故ニ自由ニ工事ヲ做スヲ得自由ニ工事ヲ休ヲ得セシメバ歡樂ヲ取ル多數ハ人ト。工事ヲ擇ビ取ル少數ハ人ト。恰モ好ク抵當スベシ。抑モ工人ノ仲間ニテオモヘラクモシ衆工人齊シク日曜日ニ作工ヲ做バ六日ノ工錢ノ外ニ是日ノ工錢ヲ受得ラルベシト。カク思フハ理ナリ。故ニソレヲ許シテ相互ニ申シ合セテ或ハ歡樂ヲ取リ或ハ勞工ヲ選べバ多數ノ

自由之理第四卷

二十九

人歡樂ヲ取リニ往クベク。少數ノ人ハ欠數ノ人ノ爲ニ勞作シ。平日ニ増タル工錢ヲ得ベシ。然レ工人休暇ヲ選バント欲セバ固ヨリ作工ヲ做ズシテ宜シキ譯ナリ。蓋シカクノ如キ種類ノ人ノ爲ニ更ニ便利ヲ計レハ一週七日ノ中ニ別ニ放假日ヲ立ベシトイフニ思ヒ至ルナリ。コノ故ニ日曜日ニ歡樂ノ事ヲ約制スル説ハ教法ニ泥メルモノニシテ是ニ非ズ。カクノ如キ事ニ法ヲ立ントスル意思ハ力ヲ極メテ拒防セザルベカラズ。抑モ仲間會社即チ政府ノ官員ヲ觀ルニ往々人ノ他人ニ向ヒ罪過ナラザル事モ全能真神ニ對シテ罪過ナルベシトソノ心ニ估量スルモノヲ罰責スルハ天ヨリ受タル委任ナリト思ヘリカクノ如

キ説。即チ他人ヲシテ已ガ法教ニ從ハシムルヲ吾ガ職分ト爲ルハ昔ヨリ異教ヲ窘逐スル謬見ノ根源ナリ。モシコノ説ヲ許ストキニハ昔ヨリ異教ヲ窘逐セシト直トスルトニナル故ニ。コノ説ハ非ナルトヲ言ザルベカラズ。且夫或ハ日曜日ニ蒸氣車通行ヲ禁ゼント欲シ。或ハ日曜日ニ博物館ヲ閉ント欲シ。屢コレヲ行ハントセリ。カクノ如キ心情ハソノ根源ヲ推セバ。昔時教法ヲ窘逐スル人ノ心情ト同一ナリ。タゞ昔時ノ如ク殘刻ナラザルノミ。蓋シ他人ノ教法ニテ許セル事ヲ我ガ教法ニテ許サズトテ。他人ノコレヲ行フヲ禁ゼントスルコノ寬許セザル志意正ニ相同ジ。余思ニ上帝カクノ如キ誤信ノ人ハ所行ヲ嫌惡シ

自由之理第四卷

モフノミナラス。モシ誤信ノ人ヲソノマヽニ捨置テ駁難ヲ爲ザレハ必ズ我輩ヲ罪シ玉フベキナリ。

者 窘逐之正

窘逐ノ事ニテ正シキモノアリ。モルモニスム教ヲ唱フル人。顯ハルヽトキハ英國ノ民衆コレヲ窘逐セント欲スル情思。發出スルトナリ。抑モコノ教ハ新ニ天ノ默示ヲ得タリト詐リ稱スルモノニシテ。コノ教ヲ創タル人。卓然信ズベキモノアルニアラス。然ルニコレヲ信ズルノ人。數十萬ノ多キヲ致シ。今新聞紙。火車。鐵道。電信ノ世代ニ於テ。コノ教徒一會社ヲ創立スルニ至レリ。ソノ最モ異トスベキモノハソノ他善キ教法ニアルガ如キ。マルテイル教法ノ爲ニ死ヲ致ス人ヲ有チ。ソノ先知者。即コノ教ヲ創立スル人ハ。亂民ニ殺サレコレ

ガ信士トナレル輩。マタ無法ナル殺害ヲ受タリ。コノ教ヲ奉スル黨衆。ソノ教ノ生ズル地方ヨリ趕出サレ。寂寞無人ノ地ニ逃ル。ニ至ル。英國許多ノ人。宜シク兵ヲ出シテコレヲ攻メ。ソレヲ強迫シテ。世間一同ノ說ニ從ハシムルヲ當然ト爲スト云リ。然レコレ爲シ難キノ事ナリ。コノ教ノ條款ノ中ニ。一人ニテ數婦ヲ娶ルヲ許定セリ。コノ事回教ノ人。印度支那ノ民ニハ。習俗トナルヲナレバ。英語ヲ語ス人。西教ヲ奉ズル人ハ。コレヲ甚ダ嫌ヒ惡ムヲナリ。余コノ教ヲ惡ム。他人ヨリ甚シ。然レ。コノ教ニ從フ地方ニテ。婦人ノ好ニ任ストキハ。數婦ニテ一夫ヲ有。一婦ニテ。一夫ニ配スルヲ嫌フナリ。外觀ニテハ。婦人難儀ヲ受

自由之理第四卷

ルヤウニ思ハルレバ。ソノ實シカラズ。蓋シ婦人ヲ教ヘカクノ如キ心ニナラシムルモノト見ユ。然ラバ。コノ教ヲ如何ニシテ禁ズベキトイフニ。コノ教ノ民。他國ニ向ヒコレト聯合スルヲ需メズ。又ソノ教ノ爲ニ。他國ノ律法ヲ廢改スル。トモ爲ス。シカノミナラズ。他人ノ對敵スル說ニ勝。一能ハズシテ。ソノ教ノ生ゼシ國ヲ遁レ去リ。遼遠ノ地。即チ人類ノ未ダ有ラザル地方ヲ覓メテ。コレニ住シ。一國ノ形ヲ成ス。トナレハ。苟モコノ人民。他國ヲ侵害スルヲ爲サズ。及ビソノ人民ニ。十分ノ自由ヲ與ヘ。ソノ教俗ヲ快トセザルモノハ。ソノ地ヲ去ルヲ許ス。トナレバ。他國ヨリ。コノ人民ヲ妨ゲ。ソノ好メル律法ヲ禁ズベキハ。理ナシ。モシ然セ

ハニハ暴虐ニ非ズシテ何トカイフベキ昔シ羅馬教會ヨリ遠ク兵ヲ出シ回々教ノ國ヲ征伐セシコアリキコノ戰ヲ名ヅケテクラスエイド十字遠征トイフ十字架ノ旗ヲ豎士卒身ニ十字架ヲ畫カケル衣ヲ着タルヨリシテコノ名ヲ得タリコレニ因テ近來有名ノ著作家オモヘラク今ゴノ數婦ヲ娶ル民衆ノ聚マレル遼遠ノ地方ヲ征伐セントスル主意ハコノ民衆甚ダ開化ノ進歩ヲ妨グル故ニコレヲ遠征セント欲スルニアルコナレバコノ戰ヲシグイライカニ開化遠征トヤ名ヅクベキト余亦シカ思ヘデナホ疑フベキモノアリ何ノ國ニテモ他國ヲ強テ開化セシムベシトイフ當然ノ權ヲ有テルモノニヤ有タヌモノニ

自由之理第四卷

ヤ切カニ執レトモ定メガタシ然レ他國ノ民ソノ國ノ惡法ニ苦シミ我國ニ救助ヲ懇求スル如キコアラバコレガ爲ニ師ヲ出スコモアリヌベシ若シ我國ト全ク相關係セザル國ニ於テ縱ヒ我ヨリコレヲ觀レバソノ國法醜惡ナリトモ彼ニテコレヲ十分ト思ヒ安心シテ居ルモノナラバ我ソノ中ニ立ち入りソノ惡法ヲ廢滅スベキノ理萬々コレナシ況ヤ數千里外ノ遠キニ居リ彼此絶テ相關係セザルハ國ニ於テキヤ我意ヲニ若シ惡俗行ハルハ國ヲシテ開化ニ進マシメント欲セバタゞ傳法教師ノ往ント欲スルモノヲ遣リ公平ナル處法ヲ以テソノ民間ニ流行スル惡俗即チモルモスムノ教道ノ如キモノヲ壓抑スベキノ

名論使入
首肯

ミ・コ・レ・ヨ・リ・以・上・ノ・過・甚・ナ・ル・ト・ハ・爲・ベ・カ・ラ・ズ・開・化・ノ・國・ト・
蠻夷ノ邦ト戰ハンニエドキ蠻夷ノ國モシ大勢カヲ得タル時ニ
ハ・蠻夷ノ俗・心ズ開化ノ事ヲ征服スベシ・開化ノ事・カクノ
如ク敵ニ降服シタランニハ・傳法教師ニテモ・ソノ他・誰ニ
テモ・コレニ抵抗シ・コレヲ回復スルノ能ハザルベシ・若シ
然シカナリタランニハ・開化ノ事・遂ニ廢滅シテ・蠻夷ノ俗益々
興ルベキナリ・ロドバ羅馬ウエス西版圖ノ北狄ニ滅サルヲ見ズヤ

自由之理第四卷

